

什器及設備費其他 金九四六、四三
計 金五一、九四六、四三
寄附申込總額 金三七、三六三、六八
同 領收額 金二九、七五七、八六
借用金額 金二四、五〇〇、〇〇
計 金五四、二五七、八六

本會關係寄附高、金四三、二五であつて、東京鐵工組合の三、七七七、五六、中央合同の二、四七一、九六、等々に比し甚だ少額であるのは組合員収入の少い事も一原因と思ふが一層の努力を切望する。
因に日本労働會館の開館式は九月廿七日より向ふ三日間日本労働會館に於て舉行される。

經費削減反對闘争

政府が昭和六年度新豫算の編成に當つて、其の誤れる財政政策の行詰りを打開せんとして求めた最後のものは遂に各省豫算人件費の五分天引案であつた。一方官業の民營化を計劃して資本家階級の腹を肥さしむ可く資本家の利益を忘れざる政府は一方に於て、官省従事員の犠牲を強要し來つたのである。而かも公益現業官廳たる逓信長官に於ては人件費五分減を強行せんとする處の態度は公共事業の何たるかを忘れたるものであつて、其の影響する處は官省従事員の生存権の問題にとゞまらずして事業の公共性を破壊するものである、と云ふ見地に立つて本會第六回大會は左の如き經費緊縮反對に關する決議をなし、經費削減反對の闘争を今年度に於ける重要な闘争として根強く闘ひ、大の功績を擧げた。

逓信事業豫算に及ぼす結果、濱口内閣が其の政策として、行ふ財政整理に基き、經費の削減を社會公共事業官廳たる、逓信事業豫算に及ぼす結果は、通信事業の遂行に甚だしく阻害ある事を認む。政府は須らく従らざるに緊縮の名に被れ、逓信事業の公共性を破壊するが如き弊を相かざらん事を留意す可きである政府當局の猛省を促す。

昭和六年九月廿八日
右決議す

日本労働總同盟逓友同志會第六回大會

右決議は大會翌日、大蔵、逓信、兩省を赤松會長、當主事訪問、決議を手交し當局の猛省を促すと同時に此の問題を直ちに職場の問題として凡ゆる機會に凡ゆる形を以つて闘ひ抜たのである。先づ之を期間的に云ふならば、豫算成立前の輿論喚起の闘争と豫算成立後に於ける新計劃實施に依る、勞務加重反對の闘争であつた。而して前期に於ける我等の全力的闘争は逓信豫算削減額を五分減より三分減程度に引下げしめ、後期即ち豫算成立後の新計劃實施に際しては我等が體驗に基く計劃の實行を當局に迫り多くの實績を擧げた。

**經費削減反對の前期戦
工務課人員整理反對闘争**

逓信省は昭和六年度新豫算編成期に當り、政府の緊縮方針が定まるや、欠員不補充を他官廳と共に實行した。豫算削減に伴ふ人員整理に對する欺瞞的術策である事は明瞭である、即ち豫算成立前になし崩し的に整理し様とする腹なのである表面は生首を切らない爲めと親切ごかしな口實を付け様とも。又「失業者を出さない方針の爲」でも斷じてない。

經費削減の犠牲を第一に強要し來つたのは、臨時部支辨

費を多く含む工務關係であつた。無益なる工事繰延の犠牲として、工務課所屬の工事備夫約二百名の諸君が極く秘密裡に識首されつゝあつたのだ、隅々本會東工下谷淺草支部所屬組合員の辭職勧告から此の事實を知つた本會執行委員會は、東工支部聯合委員會を數度に亘り開催し、單なる本會所屬組合員の復職運動としてでなく、全工務課従事員の生存権の問題として、尙延いては削減豫算反對の前期戦として徹底的反對運動をなす事とした。執行委員會統制の下に東工支部聯合委員會を中心として工務課人員整理對策委員會を設けて、東工方面各支部の統制及び工務課に對する